

講義コード Course code	022001103
講義名 Course title(Japanese)	社会学 A
英文講義名 Course title (English)	Sociology A
(副題) Course subtitle	
開講責任部署	
講義開講時期 Semester(s)	前期
講義区分 Type	講義
単位数 Credit hour(s)	2
時間 Total hours	0.00
代表曜日 Day	金曜日
時限 Period	4 時限

ナンバリングコード

所属名称	ナンバリングコード
	C2-SOC101LJ

担当教員
Lecturer(s)

職種（専任教員・非常勤教員） Position (Full-time/Part-time)	担当教員名 Lecturer(s)	実務経験の有無 Hands-on experience	所属学部 Department
専任教員	川上 代里子		経営学科

授業の内容（主題）
Course description

「社会学とは何か」と考えたとき、社会学は家族、集団、組織など人間関係を切り口として社会関係を分析していく学問であるといえるだろう。しかしその研究対象は幅広く、視点や方法も多様であるため、社会学の全体像を短期間で把握するのは難しい。そのため本講義では、我々の身近な問題を取り上げ、そのような問題を社会学がこれまでどのように扱ってきたか考察することから始める。みなさんには、ただ単に社会学についての知識を詰め込むのではなく、社会的にももの考える能力、つまり自分の身近に起こっている問題を、個々の問題として終わらせず、ものごとをもっと広い脈絡の中でとらえることができるようになってほしい。

到達目標
Course objectives

社会的にももの考える能力の前提として、基本的な社会学用語を習得することを目標とする。
また各回のテーマに関して、研究の流れにそって主要な理論を理解していくことを目標とする。

ディプロマポリシーとの関連

Accordance with diploma policy

◎：非常に強く関連する

○：強く関連する

△：関連する

空欄：該当しない

①二十一世紀の社会の発展と地域の産業、経済、文化等の活性化に貢献できる能力	△
②激変する国際社会の中であって、十分な異文化理解のもとに、長期的で広い視野に立って将来を展望し、行動できる能力	△
③本格的な高度情報社会において、最新の情報を的確に入手し、それを有効に活用したうえで効果的に情報を発信できる能力	
④自らの判断、努力と責任に基づいて、社会に積極的に貢献できる豊かな教養と柔軟な思考力	△

授業計画表

Course plan

回 Class sessions	内容 Topics	予習・復習 Expected work outside of class
第1回	イントロダクション、社会学誕生の背景、社会とは何か	復習：講義での注意事項を確認し、学んだことを復習する。(120分)
第2回	近代化論	予習：近代化というキーワードについて調べておく。(120分) 復習：自分と社会の関係がわかる身近な例を探してみる。(60分)/自分の故郷の歴史などを調べ、昔と今とどこが変化したのかを考えてみる。(60分)、
第3回	社会学史(1)成立期の社会学	予習：社会有機体説というキーワードについて調べておく。(120分) 復習：辞書や百科事典、社会学事典(辞典)などで「社会学」の定義を調べて比較し、共通点と相違点を考えてみる。(120分)
第4回	社会変動	予習：社会進化論というキーワードについて調べておく。(120分) 復習：講義の内容を踏まえ、近代日本の歴史、社会の変化について考えてみる。(120分)
第5回	階層・階級(1) 理論編(マルクスなど)	予習：階級というキーワードについて調べておく。(120分) 復習：貧困とはなんなのか考えてみる。そのうえで、授業で用いた資料と照らし合わせて日本社会の状況について考える。(120分)
第6回	階層・階級(2) 日本社会の格差	予習：階層というキーワードについて調べておく。(120分) 復習：格差を生み出す要因とは何かを考えてみる。(120分)
第7回	社会的逸脱	予習：社会的逸脱というキーワードについて調べておく。(120分) 復習：過去一年間を振り返って、自分が犯罪が増えたと感じ

		るのか減ったと感じるのか考えてみる。そして警察庁の「治安に関する世論調査」(Web上で公開されている)を調べて確認する。(120分)
第8回	社会学史(2) デュルケム	予習：社会的分業というキーワードについて調べておく。(120分) 復習：講義の内容をふまえ、普段の生活で、どのようなときに「社会」というものの存在を意識するか考えてみる。(120分)
第9回	集団の社会学(1) 集団とは何か 集団類型	予習：ゲマインシャフトとゲゼルシャフトというキーワードについて調べておく。(120分) 復習：自分の身近にある基礎集団と機能集団をそれぞれ挙げてみる。そのために講義の内容について、もう一度確認する。(120分)
第10回	社会学史(3) ウェーバー	予習：理念型というキーワードについて調べておく。(120分) 復習：授業の内容をふまえた上で、事実と価値の違い、客観的であるとはどういうことかをもう一度確認したうえで、自分の身近な社会問題を一つ取り上げて考えてみる。(120分)
第11回	集団の社会学(2) 官僚制	予習：官僚制というキーワードについて調べておく。(120分) 復習：自分の身近な組織(部活動など)で官僚制の良い点といえるものを挙げる。そのために講義の内容について、もう一度確認する。(120分)
第12回	集団の社会学(3) 官僚制のデメリット	予習：順機能と逆機能というキーワードについて調べておく。(120分) 復習：自分の身近な組織(部活動など)で官僚制のデメリットといえるものを挙げる。そのために講義の内容について、もう一度確認する。(120分)
第13回	集団の社会学(4) 組織とはなにか、産業化と組織	予習：組織というキーワードについて調べておく。(120分) 復習：自分の身の回りの事例から、人間関係が集団全体に与える影響を考える。そのために講義の内容について、もう一度確認する。(120分)
第14回	集団の社会学(5) 群衆・大衆・公衆	予習：大衆というキーワードについて調べておく。(120分) 復習：自分が一人である時と、集団の中にいる時とを比較して、物の感じ方や気持ちなどがどのように異なるか考えてみる。(120分)
第15回	まとめ	予習：第1回～14回の授業の内容を確認しておく。(120分) 復習：講義で学んだことを復習する。(120分)

授業計画コメント

Course outline

学んだ知識を定着させるために、必要に応じて授業内で練習問題に取り組む。また講義の内容を参考にして、特定のテーマについて自分なりに考え意見を書いて提出してもらうことがある。

授業の進め方

Session plan

教員から提示する資料に基づく講義形式の授業である。資料は授業で随時配布する。テーマごとに練習問題に取り組み、教員が答え合わせと解説を行う。また、講義の内容を参考にして、

特定のテーマについて自分なりに考え意見を書いて提出してもらうことがある。授業の進捗状況により、回を入れ替えることがある。

アクティブラーニング

Active learning

基本的には講義形式が中心の授業となるが、授業内容についての問いかけを通じて、その問いの答えを考えながら受講することで主体的な学びを促していく。授業内容についての練習問題に取り組み、教員が答え合わせと解説を行う。また、講義の内容を参考にして、特定のテーマについて自分なりに考え意見を書いて提出してもらうことがある。

授業時間外の学修（予習・復習等）

Preparation and review outside classroom hours

特定のテーマについて自分なりに考え意見を書いてもらうため、簡単な下調べを課題として課すことがある。また、テーマごとに練習問題に取り組む課題を課す。

教科書等

Textbooks and materials

	タイトル Title	著者名 Author(s)	出版社 Publisher	出版年 Year of Publication	価格 Price	ISBN
1	使用しない					
2						
3						
4						
5						

(必ず購入すべきもの)

Materials required for sessions

特になし

参考図書

Reference book(s)

『社会学』 アンソニー・ギデنز著 而立書房
『スタートライン 現代社会の諸相』 久門道利等著 弘文堂
*これ以外にも、各回のテーマに沿った文献を紹介することがある。

成績評価方法および評価基準

Evaluation criteria

	定期試験 Tests	授業内小試験 In-class quizzes	レポート・課題 Reports/Assignments	受講態度 Class Attitude
評価比率% Evaluation ratio	90%	0%	5%	5%

成績評価の方法に関する注意点

Assessment criteria

レポート・課題および受講態度は、授業内で指示した作業(特定のテーマについて自分の意見を書く)の提出状況などを評価する。

課題のフィードバック

Feedback

授業内で取り組んだ練習問題については、答え合わせと解説を行う。
授業で提示する問いに対する回答については、何らかのかたちでその結果を発表し、受講者の考え方の傾向を全員で共有する。

学生へのメッセージ（履修上の心得）

Message to students (class guidelines)

授業内容に関する問いを提示し、問に対する自分なりの回答を書いて提出してもらいたい。意見を書く際には「どのような意見を述べたか」によって評価が決まることはないので安心して欲しい。テーマとなる問題について、自分なりに考え、意見をまとめてそれを書くという作業をすること自体が大切である。まずは簡単で良いので自分なりの意見を持ち、それをフィードバックして欲しい。ただ出席するだけでなく、提示した課題に取り組み積極的に授業に参加してもらいたい。

科目のレベル、前提科目など

Level / Prerequisites

前提科目：特になし。入門的な科目である。

これまで社会学というものに触れたことのない学生に、「社会的に考える」ということを経験して欲しい。

キーワード

Keyword(s)

社会学